



メナダと似るが背中線が角張り容易に区別できる。若魚は汽水域にも侵入する。全長：約15cm

ボラ科 メナダ属

【全長】30cm

セスジボラ

学名：*Chelon lauvergii*

分布域

山口県以北の日本海側・
神奈川県以北の太平洋側・九州。

生息域

沿岸部や内湾や漁港など。
幼魚は汽水域に比較的多い。



体側に目立った模様や斑紋はない。

同属のメナダと似る。比較し体形はやや細長く、眼の上の橙色は薄い。第1背鰭前方の背中線が線状に角張り特徴的。体色は銀白色で特に目立った斑紋は無い。10cm前後の若魚はメナダと混泳し、汽水域でも視られる。食性は雑食性で泥底上の付着藻類やデトリタス・底生動物などを食べる。産卵生態などはよく分かっていない。

水槽での飼育は比較的容易。餌は配合飼料・冷凍赤虫に慣れる。幼魚や若魚の飼育には、海水比10～30%の汽水を用いる。成長に伴い海水比を増す。性格は温和で人にも慣れる。多種との混泳にも問題はない。やや大き目の水槽が良いようだ。

在来種

周縁魚

※ 10月頃に汽水域で10cm前後の幼魚が、メナダと共に採集される。それ以降は汽水～淡水域で視ることは少ない。沿岸域(海水域)に生活場所を移動していると思われる。